

平成29年度木津川市一般会計 補正予算第7号について（概要）

総務部財政課

平成29年度補正予算第7号は、既定予算の執行状況と事業の進捗状況から、不用見込額の減額をはじめとする必要な予算の補正を行うほか、平成29年度国の補正予算（第1号）へ対応するための予算などを計上するものである。

予算案の主な概要

1 補正予算の規模

補正前	302億4,107万8,000円
補正額	△2億4,229万3,000円（△0.8%減）
補正後	299億9,878万5,000円

2 予算の内容

【主な歳入】

◎市税

市民税個人滞納繰越分	702万1,000円増
固定資産税滞納繰越分	1,187万5,000円増
都市計画税滞納繰越分	171万6,000円増

◎分担金及び負担金

民生施設災害復旧事業費分担金	356万8,000円増
保育所保育料（現年度分）	△1,200万0,000円減

◎使用料及び手数料

市営墓地使用料	△730万0,000円減
---------	--------------

◎国庫支出金

子どものための教育・保育給付費国庫負担金	1,866万4,000円増
道路新設改良事業費国庫補助金	2,128万3,000円増
公営住宅等ストック総合改善事業国庫補助金	684万9,000円増

◎府支出金

子どものための教育・保育給付費府負担金	2,460万1,000円増
---------------------	---------------

「お茶の京都」市町村支援事業費交付金	347万7,000円
担い手確保・経営強化支援事業費府補助金	360万0,000円
◎財産収入	
土地売却収入	1億5,662万9,000円増
◎寄附金	
開発関連寄附金	1億3,939万6,000円増
◎繰入金	
財政調整基金繰入金	△2億3,000万6,000円減
公共施設等整備基金繰入金	△1億1,000万0,000円減
◎市債	
児童福祉施設整備事業債	△1,820万0,000円減
道路新設改良事業債	1,740万0,000円増
街路事業債	△9,570万0,000円減
体育施設改修事業債	△9,900万0,000円減
民生施設災害復旧事業債	350万0,000円増

【主な歳出】

◎国の補正予算による	
地域農業担い手支援事業費補助金（地域農業再生事業費）	360万0,000円
内垣外内田山線他道路改良工事費	2,163万0,000円増
木津中ノ川線外1線道路改良工事費	2,120万0,000円増
◎府制度の活用による	
観光振興事業補助金	224万8,000円
太陽光発電・蓄電設備設置補助金（資源ごみ・リサイクル・減量化事業費）	175万0,000円増
◎事業の進捗等による	
ホームページシステム更新（ホームページ管理事業費）	△239万6,000円減
共同化移行に伴う国保高額療養費給付データ移行作業 （基幹業務システム維持管理事業費）	△1,139万4,000円皆減
旧姓記載対応コンビニ交付システム改修 （住民基本台帳ネットワークシステム事業費）	△321万9,000円皆減
京都府知事選挙事業費	△518万6,000円減
後期高齢者医療特別会計繰出金	713万7,000円増
児童扶養手当	△1,220万7,000円減
保育士臨時職員雇用（保育所運営事務事業費）	△4,900万0,000円減

木津西部子育て支援センター設置（地域子育て支援拠点事業費）

△ 8 1 5 万 8 , 0 0 0 円 皆 減

城山台児童クラブ施設建設（放課後児童健全育成事業費）

△ 3 , 0 8 0 万 2 , 0 0 0 円 減

木津かんがい排水事業費

△ 3 8 7 万 5 , 0 0 0 円 減

旧大野排水樋門撤去工事委託事業費

△ 1 , 7 1 6 万 4 , 0 0 0 円 皆 減

急傾斜地崩壊対策事業費

5 5 万 0 , 0 0 0 円 増

東中央線整備事業費

△ 1 億 1 , 1 3 5 万 0 , 0 0 0 円 減

デジタル防災行政無線戸別受信機設置（防災行政無線整備事業費）

△ 5 , 3 7 7 万 5 , 0 0 0 円 皆 減

中央体育館屋根等改修事業（体育施設管理事業費）

△ 9 , 9 0 0 万 0 , 0 0 0 円 減

◎次年度以降の事業展開のために

公共施設等整備基金元金積立金

（※平成30年度城山台地域集会所建設費に対するUR開発関連寄附金受入分）

1 億 2 , 6 4 8 万 2 , 0 0 0 円

◎災害復旧費

民生施設災害復旧事業費

7 1 3 万 6 , 0 0 0 円 増

科		項		目		
所	記載例					
事						
市総合計画 (基本計画) の位置付け						
事業期間	新規・継続					
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前						
補正額						
補正後						
補正予算額の 主な内訳	金額の表記は、原則として、費目ごとの補正額を記載し、()内に補正後の予算額を記載していますが、予算の用途を明確にするため、事項ごとに費目ごとの金額を記載している場合もあります。その場合は、その事項に相当する補正後の金額を()内に記載しています。					
主な特定財源						
政策を必要とする背景及び提案の経緯	年度によって変わるものではない当該事業の基本情報を記しています。 (補正予算の特徴等を記しているものではありません。)					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科	目	款	総務費	項	総務管理費	目	文書広報費
所	マチオモイ部 学研企画課						
事	61 ホームページ管理事業費						
市総合計画 (基本計画) の位置付け	7章2【まちづくりへの参画と協働の創造】市民と行政のパートナーシップの推進						
事業期間	新規・継続				継続		
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源	
補正前	7,019						7,019
補正額	△ 2,396						△ 2,396
補正後	4,623						4,623
補正予算額の 主な内訳	庁用備品購入費:△2,396千円皆減 ホームページシステムについて、自庁式によるサーバ等機器の更新を予定していたが、京都セキュリティクラウドへ移行したことに伴い、機器購入費の全額を減額するもの。						
主な特定財源							
政策を必要とする背景及び提案の経緯	閲覧者に市の行政情報や行事等を、迅速かつわかり易くお知らせすることにより、市政に対する理解と関心を高める。						
市民参加の状況	広報以外の伝達手段として、ホームページから情報をリアルタイムに配信する。						
将来にわたる効果等							

平成29年度一般会計補正予算第7号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	総務費	項	総務管理費	目	財政管理費
所 管	総務部 財政課					
事 業	73	基金管理事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	7章3 【まちづくりへの参画と協働の創造】 新たな行政経営の展開と財政基盤の強化					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	217,083				86,283	130,800
補 正 額	275,811				275,811	
補 正 後	492,893				362,093	130,800
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	財政調整基金元金積立金: △3,370千円減(15,125千円) ※市営墓地使用料: △3,370千円減 公共施設等整備基金元金積立金: 180,008千円増(217,552千円) ※市営墓地使用料: △3,930千円減 ※土地売払収入(城山台管理地、国道24号歩道整備関連分): 57,456千円皆増 ※開発関連寄附金(城山台地域集会所建設分): 126,482千円皆増 準財産区等事業基金元金積立金: 99,173千円増(108,287千円) ※土地売払収入(城山台管理地): 99,173千円皆増					
主 な 特 定 財 源	市営墓地使用料: △7,300千円、土地売払収入: 156,629千円、開発関連寄附金: 126,482千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	決算剰余金の基金への積立、基金運用による利子収入の基金への積立や事業への活用、あるいは事業実施に際して特定目的基金が有効活用できるよう、寄附金や財産収入などを活用して積立を行う。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	総務費	項	総務管理費	目	諸費
所 管	総務部 総務課					
事 業	3343	自治振興事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	7章2 【まちづくりへの参画と協働の創造】 市民と行政のパートナーシップの推進					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	193,891				90,000	103,891
補 正 額	△ 54,100				△ 65,000	10,900
補 正 後	139,791				25,000	114,791
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	【城山台7丁目、5・11丁目集会所建設事業】 工事監理委託料: △3,000千円減(5,204千円)、集会所建設工事費: △50,000千円減(99,991千円) ※入札差金による工事費の減額と、設計業者と契約できたことにより、契約差金が生じたことによる工事監理委託料の減額 地域活動支援交付金: △1,100千円減(13,959千円) ※交付金の算出基準日の人口が確定したことによる。					
主 な 特 定 財 源	公共施設等整備基金繰入金: △65,000千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	市民が地域活動に積極的にに関わり、自ら地域の多様化、複雑化、高度化する地域課題を解決し、地域に愛着を持って暮らせるまちづくりに取り組むために支援を行う。					
市 民 参 加 の 状 況	地域住民の自治活動の円滑な推進に資することを目的として、市内に行政地域を設定し、地域長・副地域長を委嘱し、地元地域との連携を図る。					
将 来 に わ た る 効 果 等	市民が地域活動に積極的にに関わり、地域に愛着を持ち、安心して暮らせるまちづくりの実現を図る。					

平成29年度一般会計補正予算第7号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	総務費	項	総務管理費	目	電子計算費
所 管	マチオモイ部 学研企画課					
事 業	209	基幹業務システム維持管理事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	7章3 【まちづくりへの参画と協働の創造】 新たな行政経営の展開と財政基盤の強化					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	190,364	4,803				185,561
補 正 額	△ 15,201	128				△ 15,329
補 正 後	175,163	4,931				170,232
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	電算システム等委託料:△11,394千円減(40,401千円) ※共同化移行に伴い国保高額療養費給付データの全件移行作業を予定していたが、多数該当の判定に用いるデータのみ移行することとなり、職員で対応することが可能となったため。 庁用備品購入費:△3,807千円減(15,566千円) ※入札差金による生活保護システム更新機器購入費:△2,241千円減 ※自庁式からASP化へと運用を変更したことによる障がい者システム更新機器購入費:△1,566千円皆減					
主な特定財源	子ども・子育て支援推進費国庫補助金:128千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	京都府・市町村共同開発システムなどの基幹系業務システムを安定的に稼働させ、行政運営の効率化を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	総務費	項	徴税费	目	税務総務費
所 管	総務部 税務課					
事 業	3557	広域連合京都地方税機構負担金事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	7章3 【まちづくりへの参画と協働の創造】 新たな行政経営の展開と財政基盤の強化					
事 業 期 間	平成25年度から			新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	57,260					57,260
補 正 額	9,064					9,064
補 正 後	66,324					66,324
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	広域連合京都地方税機構負担金:9,064千円増(66,324千円) 派遣職員にかかる人件費の精査等に伴い、所要の補正を行う。					
主な特定財源						
政策を必要とする背景及び提案の経緯	広域連合京都地方税機構への負担金事業(平成24年度までは滞納事務事業費で予算計上)					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成29年度一般会計補正予算第7号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	総務費	項	徴税费	目	徴収費
所 管	総務部 税務課					
事 業	445	徴収事務事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	7章3 【まちづくりへの参画と協働の創造】 新たな行政経営の展開と財政基盤の強化					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補 正 前	6,198					1,050 5,148
補 正 額	256					256
補 正 後	6,454					1,050 5,404
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	振替手数料:256千円増(4,378千円) 指定銀行の追加と、コンビニ収納件数の増加による今年度の執行見込みに基づき、所要の補正を行う。					
主 な 特 定 財 源						
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	納税者の生活スタイルの多様化に対応した納税環境の整備、納税意識の高揚、収納率の向上を目指す。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	総務費	項	戸籍住民基本台帳費	目	戸籍住民基本台帳費
所 管	市民部 市民課					
事 業	465	住民基本台帳ネットワークシステム事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	7章3 【まちづくりへの参画と協働の創造】 新たな行政経営の展開と財政基盤の強化					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補 正 前	52,514		14,918			9,467 28,129
補 正 額	△ 3,219		△ 3,219			
補 正 後	49,295		11,699			9,467 28,129
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	電算システム変更委託料:△3,219千円減(2,484千円) 旧姓記載に伴うコンビニ交付システム改修を予定していたが、地方公共団体情報システム機構(J-LIS)による旧姓記載対応のシステム改修仕様要件の提示が年度末と見込まれるため、更新費用の全額を減額し、平成30年度の実施とするもの。					
主 な 特 定 財 源	社会保障・税番号制度システム整備事業費国庫補助金:△3,219千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	住民基本台帳ネットワークの厳正な管理に努める。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

平成29年度一般会計補正予算第7号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	総務費	項	選挙費	目	京都府知事選挙費
所 管	総務部 総務課					
事 業	3675	京都府知事選挙事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	7章2【まちづくりへの参画と協働の創造】市民と行政のパートナーシップの推進					
事業期間	平成29年度～平成30年度			新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	16,481		16,481			
補正額	△ 5,186		△ 5,186			
補正後	11,295		11,295			
補正予算額の 主な内訳	京都府知事選挙の選挙期日を平成30年4月1日と想定していたが、京都府選挙管理委員会において選挙期日を平成30年4月8日とすることが決定されたことを受け、これに対応するための執行経費について、所要の補正を行う。					
主な特定財源	京都府知事選挙事務費府委託金:△5,186千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	選挙事務を適正に執行する。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉総務費
所 管	健康福祉部 社会福祉課					
事 業	589	地域福祉基金事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章2【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】ともに支え合う地域福祉の充実					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	1				1	
補正額	149				149	
補正後	150				150	
補正予算額の 主な内訳	地域福祉基金元金積立金:149千円増(150千円) 寄附金の受領に伴い、所要の補正を行う。					
主な特定財源	福祉指定寄附金:149千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	高齢化社会に対応し、地域における福祉及び保健に関する事業の推進を図るため、地域福祉基金の積立、管理等を行う。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成29年度一般会計補正予算第7号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	民生費	項	社会福祉費	目	老人医療費
所 管	市民部 国保年金課					
事 業	957	老人医療助成事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章2【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】ともに支え合う地域福祉の充実					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	98,380		47,361			51,019
補正額	1,505					1,505
補正後	99,885		47,361			52,524
補正予算額の 主な内訳	府支出金返還金:1,505千円皆増 ※平成28年度老人医療助成事業費府補助金1,474千円 ※平成28年度老人医療助成事業施行事務費府補助金31千円					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	老人の健康の保持と保健の向上に寄与するため、医療費(保険診療分)の一部を助成することにより、福祉の増進を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	民生費	項	社会福祉費	目	介護保険費
所 管	健康福祉部 高齢介護課					
事 業	993	介護保険特別会計繰出事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章2【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】ともに支え合う地域福祉の充実					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	662,447	3,892	1,946			656,609
補正額	2,896					2,896
補正後	665,343	3,892	1,946			659,505
補正予算額の 主な内訳	介護保険特別会計繰出金:2,896千円増(665,343千円) ※介護認定審査会システム法改正対応改修分:2,096千円増 ※認定調査のための主治医意見書作成手数料:800千円増					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	介護保険特別会計への繰出金事業					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成29年度一般会計補正予算第7号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	民生費	項	社会福祉費	目	後期高齢者医療費
所 管	市民部 国保年金課					
事 業	3300	後期高齢者医療事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章2【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】ともに支え合う地域福祉の充実					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	692,240		90,279			601,961
補正額	7,137				143	6,994
補正後	699,377		90,279		143	608,955
補正予算額の 主な内訳	後期高齢者医療特別会計繰出金:7,137千円増(148,994千円) 後期高齢者医療広域連合保険事業補助金について、人間ドック事業のうち脳ドックが補助対象外事業となったことに伴い、所要の補正を行う。					
主な特定財源	後期高齢者医療広域連合保険事業補助金:143千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	満75歳以上の方と一定の障害があると認定された65歳以上の方を対象とする医療保険制度を運営するため、京都府後期高齢者医療広域連合へ負担金を納付し、後期高齢者医療特別会計へ繰出金を支出する。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費
所 管	健康福祉部 こども宝課					
事 業	3369	地域子育て支援拠点事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章1【豊かな心を育む教育・文化の創造】子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	26,643	9,074	9,074			8,495
補正額	△7,937	△2,840	△2,840			△2,257
補正後	18,706	6,234	6,234			6,238
補正予算額の 主な内訳	つどいのひろば事業委託料:174千円増(8,952千円) 子育て支援センター事業委託料:△4,111千円減(8,365千円) ※木津西部子育て支援センター分:△4,158千円皆減、木津東部子育て支援センター単価改正分:47千円増 子育て支援センター用備品購入費:△4,000千円皆減 木津西部子育て支援センター設置計画の見直しや単価改正に伴い、所要の補正を行う。					
主な特定財源	子ども・子育て支援事業国庫交付金:△2,840千円、子ども・子育て支援事業府交付金:△2,840千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	安心して子どもを生み育てる環境をつくり、地域全体で子育てを支援する基盤を形成する。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成29年度一般会計補正予算第7号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉施設費
所 管	健康福祉部 こども宝課					
事 業	1117	保育所運営事務事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	4章1 【豊かな心を育む教育・文化の創造】 子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	398,182	209	8,974		58,303	330,696
補 正 額	△ 50,300				△ 3,090	△ 47,210
補 正 後	347,882	209	8,974		55,213	283,486
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	社会保険料:△8,000千円減(30,379千円)、臨時職員賃金:△41,000千円減(274,523千円)、保育所用備品購入費:△1,300千円減(419千円) 保育士臨時職員の雇用実績など、今年度の執行見込みに基づき、所要の補正を行う。					
主 な 特 定 財 源	保育所保育料(現年度分):△3,097千円、全国町村会総合賠償補償保険受入金:7千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	保育需要に対応した保育園運営及び施設管理を行う。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	民生費	項	児童福祉費	目	放課後児童健全育成事業費
所 管	健康福祉部 こども宝課					
事 業	1217	放課後児童健全育成事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	4章1 【豊かな心を育む教育・文化の創造】 子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	266,034	98,800	73,836	33,200	53,787	6,411
補 正 額	△ 43,762	△ 1,688	△ 22,822	△ 18,200	△ 10,000	8,948
補 正 後	222,272	97,112	51,014	15,000	43,787	15,359
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	臨時職員賃金:△12,960千円減(51,588千円)、児童クラブ施設建築工事費:△30,456千円減(119,544千円)、水道加入分担金:△346千円皆減 児童クラブ指導員の雇用実績と、城山台児童クラブ施設建設工事の進捗に伴う今年度の執行見込みに基づき、所要の補正を行う。					
主 な 特 定 財 源	子ども・子育て支援整備国庫交付金:△1,688千円、子ども・子育て支援整備府交付金:△22,822千円、児童福祉施設整備事業債:△18,200千円、公共施設等整備基金繰入金:△10,000千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	放課後等に小学生の適切な遊びや生活の場を確保し、健全育成を図る。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

平成29年度一般会計補正予算第7号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	予防費
所 管	健康福祉部 健康推進課					
事 業	1317	総合がん検診事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章2【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】ともに支え合う地域福祉の充実					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	132,293	527	380		2,593	128,793
補正額	△ 2,388					△ 2,388
補正後	129,905	527	380		2,593	126,405
補正予算額の 主な内訳	発送業務等委託料:△2,388千円減(3,591千円) クーポン事業および女性がん検診を同時期実施とし、発送業務等についても平成30年度に行うこととしたため、 所要の補正を行う。					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	がんの早期発見、早期治療によりがん死亡の減少に結びつくよう検診を実施する。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費
所 管	市民部 まち美化推進課					
事 業	1473	資源ごみ・リサイクル・減量化事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	6章2【環境と調和した持続可能なまちの創造】環境負荷を低減する生活環境づくり					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	24,225		7,200		6,152	10,873
補正額	1,150		1,500			△ 350
補正後	25,375		8,700		6,152	10,523
補正予算額の 主な内訳	木津川市エコ生活応援補助金:1,150千円増(9,430千円) ※雨水タンク設置補助:△600千円減 ※太陽光発電・蓄電設備設置補助:1,750千円増					
主な特定財源	雨水貯留施設設置事業費府補助金:△200千円、家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業費府補助金:1,700千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	古紙、容器包装廃棄物等を再資源化することにより、ごみの減量化及び処理コスト削減、資源としての有効利用促進を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成29年度一般会計補正予算第7号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	衛生費	項	上水道費	目	上水道費
所 管	上下水道部 水道業務課					
事 業	3456	水道事業会計負担事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	3章1 【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】 安心・安全、快適なまちづくり					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	133,856			110,100		23,756
補 正 額	△ 1,509			△ 1,500		△ 9
補 正 後	132,347			108,600		23,747
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	水道事業会計出資金:△1,509千円減(123,073千円) ※山城高区配水池更新△2,650千円減 ※石綿セメント管更新1,141千円増					
主 な 特 定 財 源	水道事業出資債:△1,500千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	水道事業会計への負担金事業(平成29年4月1日付けで簡易水道事業を統合)					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等	安心・安全な生活と快適な暮らしを支える水道を基本理念として、水道事業の経営基盤強化を図る。					

科 目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
所 管	マチオモイ部 農政課					
事 業	3560	地域農業再生事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	2章2 【地域力を活かした産業・事業の創造】 地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築					
事 業 期 間	平成25年度から			新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	3,065		1,346			1,719
補 正 額	3,600		3,600			
補 正 後	6,665		4,946			1,719
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	地域農業担い手支援事業費補助金:3,600千円増(3,800千円) 平成29年度国の補正予算(第1号)に伴う国の担い手確保・経営強化支援事業を活用し、先進的な農業経営の確立に意欲的に取り組む地域の担い手が、融資を受けて行う農業用機械の導入を支援するため、融資残額(事業費の2分の1以内)に対する補助を行う。 ※認定農業者による九条ネギ栽培用機械購入費(トラクター等)に対する補助 事業費:7,792千円(うち融資資金3,600千円、自己資金592千円)					
主 な 特 定 財 源	担い手確保・経営強化支援事業費府補助金:3,600千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	農業経営基盤の安定と米の生産調整の円滑化を図るため、生産調整方針の運用に関する要領に掲げる事務などを行う。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

平成29年度一般会計補正予算第7号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
所 管	マチオモイ部 農政課					
事 業	3608	農地中間管理事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	2章2【地域力を活かした産業・事業の創造】地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	1,303				1,297	6
補 正 額	△ 1,290				△ 1,288	△ 2
補 正 後	13				9	4
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	調査員謝礼:△782千円皆減、普通旅費:△220千円減(3千円)、消耗品費:△210千円減(10千円)、印刷製本費:△50千円皆減、通信運搬費:△28千円皆減 設置を予定していた農地集積コーディネーターについて、適切な人材が確保できず事業計画を変更したことに伴い、所要の補正を行う。					
主 な 特 定 財 源	農地中間管理事業費受託事業収入:△1,288千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯						
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農地費
所 管	建設部 建設課					
事 業	1597	木津かんがい排水事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	2章2【地域力を活かした産業・事業の創造】地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	28,908			4,500	24,400	8
補 正 額	△ 3,875			△ 1,300	△ 2,600	25
補 正 後	25,033			3,200	21,800	33
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	府営かんがい排水事業負担金:△3,875千円減(8,875千円) 各分水の機器更新に向け、年度末に通水試験を予定していたが、大井手川改修工事による木津水管移設工事に伴い実施できなくなったため、京都府に対する負担金について、所要の補正を行う。					
主 な 特 定 財 源	木津かんがい排水事業債:△1,300千円、土地改良事業基金繰入金:△2,600千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	木津川の用水を6か所のため池及び直接農地へ供給することにより、現在使用されている農業用水の希釈水質改善を行い、併せて水管理システムを導入することで農業の省力化と合理化を図る。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

平成29年度一般会計補正予算第7号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	商工費	項	商工費	目	観光費
所 管	マチオモイ部 観光商工課					
事 業	1705	観光振興事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	1章1【個性を活かした魅力ある地域文化の創造】歴史・文化の保全・活用 1章2【個性を活かした魅力ある地域文化の創造】歴史・文化・伝統を背景とした地域文化創造活動の促進 2章2【地域力を活かした産業・事業の創造】地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補 正 前	49,746		7,270			42,476
補 正 額	2,248			3,369		△ 1,121
補 正 後	51,994		7,270	3,369		41,355
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	【「お茶の京都」市町村支援事業費交付金事業】 観光振興事業補助金:2,248千円皆増(うち交付金充当額:1,124千円) 地域住民と協働によるアート手法を用いた上狛茶問屋街を中心とした賑わいの場づくりの創出を実践する団体 に対する活動支援補助を行う。 その他、京都府からの配分結果に基づき、当尾地域への急行バス運行に対する観光誘客促進事業負担金と木 津川アート2018(平成29年度事業)に対して財源充当(2,245千円)を行う。					
主 な 特 定 財 源	「お茶の京都」市町村支援事業費交付金:3,369千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	歴史的文化的遺産等の活用をはじめとした、魅力づくりを行うため、多様な主体との連携を進め観光振興を図 る。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費
所 管	建設部 建設課					
事 業	3434	内垣外内田山線他道路改良事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	5章1【連携を強め地域を支えるネットワークの創造】道路交通ネットワークの整備・充実					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補 正 前	46,314		11,500		8,500	25,000 1,314
補 正 額	13,873		9,589		7,900	△ 5,000 1,384
補 正 後	60,187		21,089		16,400	20,000 2,698
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	消耗品費:30千円増(50千円)、道路新設改良工事費:8,600千円増(21,600千円)、道路用地購入費:5,918千円 増(27,206千円)、建物等移転補償費:△675千円減(1,325千円) 平成29年度国の補正予算(第1号)に伴う社会資本整備総合交付金の追加配分を受けた工事費を増額(21,600 千円増)する一方で、交付金の当初配分額を工事費から減額(△13,000千円減)し、道路用地購入費等へ配分を 変更することによって、事業の進捗を図る。					
主 な 特 定 財 源	道路新設改良事業費国庫補助金:9,589千円、道路新設改良事業債:7,900千円、公共施設等整備基金繰入金: △5,000千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	木津中央地区の街びらきにあわせて、既設市道の道路拡幅、歩道のバリアフリー整備等を行うことにより、木津駅 周辺の公共交通のネットワーク形成を図る。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

平成29年度一般会計補正予算第7号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費
所 管	建設部 建設課					
事 業	3621	木津中ノ川線外1線道路改良事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	5章1【連携を強め地域を支えるネットワークの創造】道路交通ネットワークの整備・充実					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	8,950	2,695		1,900		4,355
補正額	21,200	10,949		9,000		1,251
補正後	30,150	13,644		10,900		5,606
補正予算額の 主な内訳	道路改良工事費:21,200千円増(30,100千円) 平成29年度国の補正予算(第1号)に伴う社会資本整備総合交付金の追加配分を受けた工事費を増額し、事業の進捗を図る。					
主な特定財源	道路新設改良事業費国庫補助金:10,949千円 道路新設改良事業債:9,000千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯						
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	土木費	項	河川費	目	河川総務費
所 管	建設部 建設課			まちづくり事業推進室		
事 業	3664	旧大野排水樋門撤去工事委託事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章1【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】安心・安全、快適なまちづくり					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	17,164		17,163			1
補正額	△17,164		△17,163			△1
補正後						
補正予算額の 主な内訳	工事委託料:△17,164千円皆減 一級河川赤田川改修事業の実施に伴う旧大野排水樋門撤去工事を予定していたが、事業施行者である京都府と河川管理者である国土交通省との間で工事についての協議が整わなかったことから全額を減額し、平成30年度で撤去工事を行う。					
主な特定財源	樋門撤去事業費府委託金:△17,163千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	京都府実施の赤田川河川改修事業に伴い大野排水樋門の移設が必要となるため、旧大野排水樋門の撤去を行う。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成29年度一般会計補正予算第7号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	土木費	項	河川費	目	砂防費
所 管	建設部 建設課		まちづくり事業推進室			
事 業	1825	急傾斜地崩壊対策事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	3章1 【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】 安心・安全、快適なまちづくり					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	1,500					1,500
補 正 額	550					550
補 正 後	2,050					2,050
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	急傾斜地崩壊対策事業費負担金:550千円増(2,050千円) 平成29年度京都府施行事業費(加茂町大野地区)の確定に伴い、所要の補正を行う。					
主 な 特 定 財 源						
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	京都府が実施する急傾斜地崩壊対策事業への負担金事業					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	土木費	項	都市計画費	目	街路事業費
所 管	建設部 建設課		まちづくり事業推進室			
事 業	3418	東中央線整備事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	5章1 【連携を強め地域を支えるネットワークの創造】 道路交通ネットワークの整備・充実					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	336,865			271,600	60,000	5,265
補 正 額	△ 111,350			△ 95,700	△ 20,000	4,350
補 正 後	225,515			175,900	40,000	9,615
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	東中央線整備事業負担金:△111,350千円減(195,510千円) 平成29年度京都府施行事業費の確定に伴い、所要の補正を行う。					
主 な 特 定 財 源	街路事業債:△95,700千円、公共施設等整備基金繰入金:△20,000千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	京都府が施行する東中央線整備事業に対する負担金支払い及び関連事業を行う。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

平成29年度一般会計補正予算第7号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	土木費	項	都市計画費	目	公共下水道費
所 管	上下水道部 下水道課					
事 業	3709	公共下水道事業会計負担事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	3章1 【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】 安心・安全、快適なまちづくり					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	880,068				100,000	780,068
補 正 額	△ 19,133					△ 19,133
補 正 後	860,935				100,000	760,935
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	公共下水道事業会計負担金:△500千円減(646,904千円) 公共下水道事業会計補助金:△18,633千円減(214,031千円) ※水洗化促進補助金の申請者が当初見込みより少なかったことや、加茂浄化センター維持管理業務の入札差金、流域下水維持管理費負担金の確定などによる。					
主 な 特 定 財 源						
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	公共下水道事業会計への負担金					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	土木費	項	住宅費	目	住宅管理費
所 管	建設部 施設整備課					
事 業	1909	市営住宅維持管理事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	3章1 【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】 安心・安全、快適なまちづくり					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	89,580	17,094		31,700	23,292	17,494
補 正 額	△ 14,787	6,849		△ 7,800	△ 10,000	△ 3,836
補 正 後	74,793	23,943		23,900	13,292	13,658
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	【鈴畑団地訴訟関連経費】 訴訟関係手数料:△402千円減(3千円)、訴訟終結謝金:△112千円皆減、処分委託料△148千円皆減、解体工事費:△3,328千円減(1,572千円) ※相手方が行方不明であり裁判が終結するまで時間を要したことによる。 【清水団地屋根防水等改修事業】 市営住宅改修工事費:△10,797千円減(50,256千円) ※入札差金による。					
主 な 特 定 財 源	公営住宅等ストック総合改善事業国庫補助金:6,849千円、市営住宅改修事業債:△7,800千円、公共施設等整備基金繰入金:△10,000千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	市営住宅の適正な維持管理により、住環境を充実させる。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等	改善プランを作成し、計画的に事業に取り組む。					

平成29年度一般会計補正予算第7号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	消防費	項	消防費	目	常備消防費
所 管	総務部 危機管理課					
事 業	1921	相楽中部消防組合負担金事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	7章3 【まちづくりへの参画と協働の創造】 新たな行政経営の展開と財政基盤の強化					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	1,069,085					1,069,085
補 正 額	△ 11,075					△ 11,075
補 正 後	1,058,010					1,058,010
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	相楽中部消防組合負担金: △11,075千円減(1,058,010千円) 負担金の確定に伴い、所要の補正を行う。					
主 な 特 定 財 源						
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	相楽中部消防組合への負担金事業					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	消防費	項	消防費	目	災害対策費
所 管	総務部 危機管理課					
事 業	3513	防災行政無線整備事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	3章1 【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】 安心・安全、快適なまちづくり					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	58,515			4,500		54,015
補 正 額	△ 53,775					△ 53,775
補 正 後	4,740			4,500		240
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	防災行政無線戸別受信機設置委託料: △25,657千円減(195千円)、防災行政無線戸別受信機購入費: △28,118千円皆減 土砂災害警戒区域内の高齢者のみの世帯や要配慮世帯等に対してデジタル防災行政無線戸別受信機の設置を予定していたが、事業実施を見送ったことに伴い、全額を減額するもの。					
主 な 特 定 財 源						
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	市内全域にデジタル方式同報系防災行政無線を整備する。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

平成29年度一般会計補正予算第7号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	教育費	項	保健体育費	目	体育施設費
所 管	教育部 社会教育課					
事 業	2477	体育施設管理事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章3【豊かな心を育む教育・文化の創造】生涯にわたる学習機会の充実					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	313,509			260,100	15,551	37,858
補正額	△ 102,303			△ 99,000		△ 3,303
補正後	211,206			161,100	15,551	34,555
補正予算額の 主な内訳	機器保守点検委託料:△216千円減(54千円)、消防設備保守点検委託料:△167千円減(328千円)、草刈工事費:△752千円減(3,250千円)、社会体育施設等改修工事費:△2,168千円減(5,358千円)、中央体育館改修工事費:△99,000千円減(161,100千円) 保守点検や社会体育施設等改修工事完了による執行額の確定と、中央体育館改修工事の進捗に伴う今年度の執行見込みに基づき、所要の補正を行う。					
主な特定財源	体育施設改修事業債:△99,000千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	社会体育施設の管理、修繕、改修等を行う。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	災害復旧費	項	厚生施設災害復旧費	目	民生施設災害復旧費
所 管	健康福祉部 高齢介護課					
事 業	3498	民生施設災害復旧事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章1【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】安心・安全、快適なまちづくり					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	13,600			6,800	6,800	
補正額	7,136			3,500	3,568	68
補正後	20,736			10,300	10,368	68
補正予算額の 主な内訳	災害復旧工事費:7,136千円増(16,736千円) 台風21号により被災した山城ぬぐりの里の法面崩壊復旧工事に向けた設計業務を委託し、工法や工種について設計業者や法人等と検討・協議を重ねているが、今後、復旧に最適な工法・工種を選定するにあたり、現計予算では予算が不足することによる不測の事態を避けるため、工事費を増額することによって、事業の円滑な進捗と早期復旧を目指す。					
主な特定財源	民生施設災害復旧事業費分担金:3,568千円、民生施設災害復旧事業債:3,500千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	民生施設災害復旧事業					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

款	項	目	事業名	繰越額	財 源 内 訳					区 分	金 額	理 由	担 当 課	区 分	
					国庫支出金	府支出金	地方債	その他	一般財源						
3	民生費	1 社会福祉費	11 人権センター運営費	加茂人権センター耐震改修設計費	10,791	1,059				9,732	12 役務費 303	加茂人権センター耐震改修設計について、建築確認等の法的整備に不測の時間を要したことで、施設計画プランの着手時期が遅れたとともに、建物の計画に時間を要しているため。 【完成予定年月日】 平成30年9月30日	人権推進課	新規	
										13 委託料	10,488				
5	農林水産業費	1 農業費	3 農業振興費	地域農業担い手支援事業費補助金	3,600		3,600			0	19 負担金、補助及び交付金	3,600	平成29年度国の補正予算(第1号)に伴う国の担い手確保・経営強化支援事業を活用し、先進的な農業経営の確立に意欲的に取り組む地域の担い手が、融資を受けて行う農業用機械の導入を支援するため。 【完成予定年月日】 平成30年6月29日	農政課	新規
5	農林水産業費	1 農業費	4 農地費	木津かんがい排水事業補助金	10,065					10,065	19 負担金、補助及び交付金	10,065	* 木津かんがい排水施設管理事務所建設に対する補助 開発行為に伴う事前協議および建築施設に導入する水管理システムの設計協議等に時間を要し、5か月間の工期延長が必要となったため。 【完成予定年月日】 平成30年8月31日	建設課	新規
5	農林水産業費	2 林業費	1 林業振興費	災害に強い森づくり事業	10,096		10,087			9	11 需用費 256 15 工事請負費 9,840	256 9,840	京都府からの委託事業として山城町綺田地区内の治山ダム等の堆積土砂の撤去と民家に隣接する危険木の伐採を実施しているが、伐採木を決定するための、権利者調整に不測の時間を要したため。 【完成予定年月日】 平成30年12月31日	建設課	新規
7	土木費	2 道路橋りょう費	3 道路新設改良費	道路新設改良事業	5,000					5,000	13 委託料	5,000	* 市道加1-1号線用地測量業務 京都府が国道163号交差点改良事業の一環として実施する用地測量にあわせ測量設計を行うため。 * 市道木335号線道路線形検討業務 木津川市役所から大阪橋までの道路線形検討業務を委託したが、国道24号(木津)交差点から国道163号(川ノ尻)交差点までで計画すべきであるとの京都府からの指導もあり、次回の基本計画に繋げるためにも今回計画延長を伸ばす必要があるため。 また、道路幅員の決定にあたっては、現在の通過交通量をもとに計画しないと道路の規格(幅員)が決まらないため、交通量調査を行う必要があるとともに、交差点形状については、公安委員会との協議を予定しているが、協議に時間を要するため。 【完成予定年月日】 平成30年9月30日	建設課	新規

平成29年度 一般会計補正予算第7号 繰越明許費補正の概要

※括弧内は、変更前の額を示す。

(単位:千円)

款	項	目	事業名	繰越額	財 源 内 訳					区 分	金 額	理由	担 当 課	区 分	
					国庫支出金	府支出金	地方債	その他	一般財源						
7	土木費	2 道路橋りょう費	3 道路新設改良費	内垣外内田山線他道路改良事業	21,630	10,752		8,800		2,078	11 需用費	30	平成29年度国の補正予算(第1号)による社会資本総合整備交付金を活用し、事業の進捗を図るため。 【完成予定年月日】 平成31年3月31日	建設課	新規
											15 工事請負費	21,600			
7	土木費	2 道路橋りょう費	3 道路新設改良費	木津中ノ川線外1線道路改良事業	21,200	10,531		8,600		2,069	15 工事請負費	21,200	平成29年度国の補正予算(第1号)による社会資本総合整備交付金を活用し、事業の進捗を図るため。 【完成予定年月日】 平成31年3月31日	建設課	新規
7	土木費	2 道路橋りょう費	3 道路新設改良費	木津内田山線道路改良事業	4,100					4,100	13 委託料	4,100	詳細設計業務が公安委員会協議で時間を要し、用地買収範囲の確定ができなかったことから、用地測量の実施が遅れたため。 【完成予定年月日】 平成30年6月30日	建設課	新規
7	土木費	3 河川費	3 河川新設改良費	河川改修事業	10,000					10,000	13 委託料	10,000	京都府施行の赤田川改修事業の貝鍋川樋門改修に伴う現貝鍋川の暫定改修については、将来の本格改修を見据えた基本設計に基づき暫定改修協議を行うことになっており、京都府との基本計画、暫定改修計画協議に期間を要するため。 【完成予定年月日】 平成30年9月30日	建設課	新規
10	災害復旧費	3 厚生施設災害復旧費	1 民生施設災害復旧費	民生施設災害復旧事業	(9,600)			(4,800)	(4,800)	(0)	15 工事請負費	(9,600)	台風21号による山城めぐりの里法面崩壊に伴う災害復旧工事について、設計業務委託の完了が平成30年3月末となる見込みであり、年度内の入札が困難であるため。 【完成予定年月日】 平成30年9月30日	高齢介護課	変更
					16,736			8,300	8,368	68		16,736			
					113,218	22,342	13,687	25,700	8,368	43,121		113,218			

平成29年度一般会計補正第7号 債務負担行為補正の概要

1. 追加

事 項	期 間	限 度 額	内 容
旧大野排水樋門撤去工事委託事業 (建設課まちづくり事業推進室)	平成29年度～平成30年度	41,192千円	一級河川赤田川改修事業の実施に伴う旧大野排水樋門撤去工事の施行について、相互間での協力により工事の円滑な施行を図ることを目的とし、三者(国・府・市)での受委託協定を交わしたものであるが、工事進捗において事業施行者(京都府)と河川管理者(国土交通省)との間で工事について協議が整わなかったことで工事期間を延長する必要が生じたため、新たに債務負担行為を設定するもの。

2. 変更

事 項	期 間	限 度 額 (変 更 前)	限 度 額 (変 更 後)	内 容
京 都 府 知 事 選 挙 費 (総 務 課)	平成29年度～平成30年度	32,023千円	32,579千円	平成30年4月15日任期満了に伴い、選挙期日を平成30年4月1日と想定し、平成29年度当初予算において債務負担行為の設定と、補正予算第5号において限度額の増額を行ったが、京都府選挙管理委員会が選挙期日が平成30年4月8日と決定されたこと、高の原駅前商業施設での期日前投票所設営にかかる資機材借上料など、平成30年4月1日以降に執行が見込まれる経費を増額したため。
小中学校及び幼稚園空調設備整備事業 (学 校 教 育 課)	平成29年度～平成43年度	1,514,000千円	0千円	PFI事業により小中学校及び幼稚園に空調設備を整備するため、事業者の募集公告に際して、平成29年度一般会計補正予算第5号において債務負担行為を設定したが、当該年度中に事業契約の締結が困難であるため。